

IBMクラウド・ビデオ Streaming Manager for Enterprise

セキュリティ機能が充実した
ビデオを通して、従業員の参
加度を向上



IBMクラウド・ビデオ Streaming Manager for Enterprise

セキュリティ機能が充実したビデオを通して、従業員の参加度を向上。IBM® Cloud Video Streaming Manager for Enterpriseを使用すると、従業員がほぼどこにいても、簡単なタウンホールミーティング、研修や部内連絡を容易に配信することができます。このプラットフォームは、ワトソンAIテクノロジーを利用して、ライブおよびオンデマンドビデオのエンド・トゥー・エンドワークフローを簡素化することができます。



メッセージを保護する

Streaming Manager for Enterpriseを使用すると、意図した相手先にコンテンツが確実に届くので、不安なく機密情報を送信することが可能です。

- SSO (シングルサインオン) を利用して既存の企業ディレクトリを通じてビデオの安全性を確保する。
- Okta、OneLogin、Google Apps for Work などのSAMLベースのSSOプロバイダーとのターンキー統合。
- 電子メール検証を介した代替 2 段階認証。
- 自社イントラネットへの埋め込みが制限できるドメイン管理。

自動ビデオキャプション

ワトソンの人工知能能力を利用して、スピーチからテキストへの変換とキャプション挿入を自動的に実施。

- 外注業者への委託不要。
- キャプションの追加コストなし。
- キャプションありまたはなしでの公開を自動的に設定。

利用率の追跡

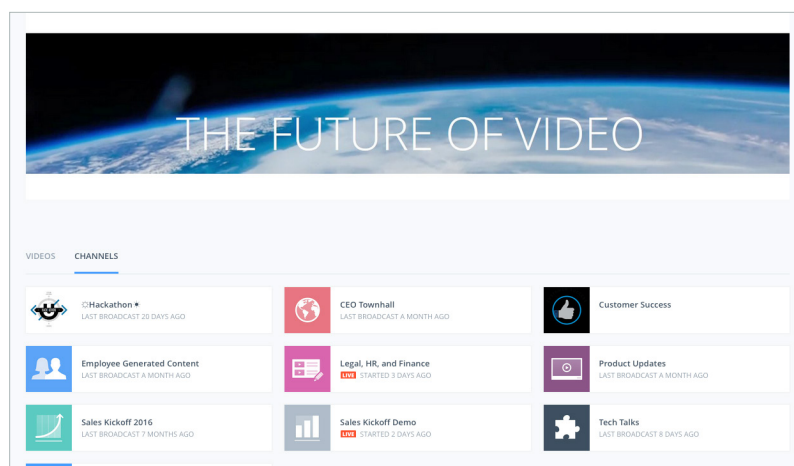
誰がいつどの程度多くのコンテンツにアクセスしたか追跡できません。認証に使用されるメールアドレスを関連付けることによって、ユーザー毎にアセットが最後まで視聴されたかどうかも追跡できます。

- コンプライアンス研修の目的で、ビューワーベースごとの利用率を追跡。
- 御社で最も大きな成功を収めたビデオアセットを特定。
- ユーザーがいつ、どの程度の時間コンテンツにアクセスしたかという情報を閲覧。
- ほぼリアルタイムでライブストリームのパフォーマンスを監視。

スケーラブル

Streaming Manager for Enterpriseは広範なビジネスニーズに対応しており、地理上の位置や使用デバイスが異なる広範なビューワーに配信することが可能です。

- 組織内の異なるグループごとに個別のチャンネルを設定。
- 安全に保護された方法で現場の従業員に配信。
- 貴社アカウントに複数の管理者を配置。
- 各グループごとに適切なセキュリティレベルを割り当て。
- オプション機能であるIBM Cloud Videoを利用した、コーポレートネットワークを混雑させることなくHDコンテンツを配信。



セキュリティ機能が充実したビデオポータル

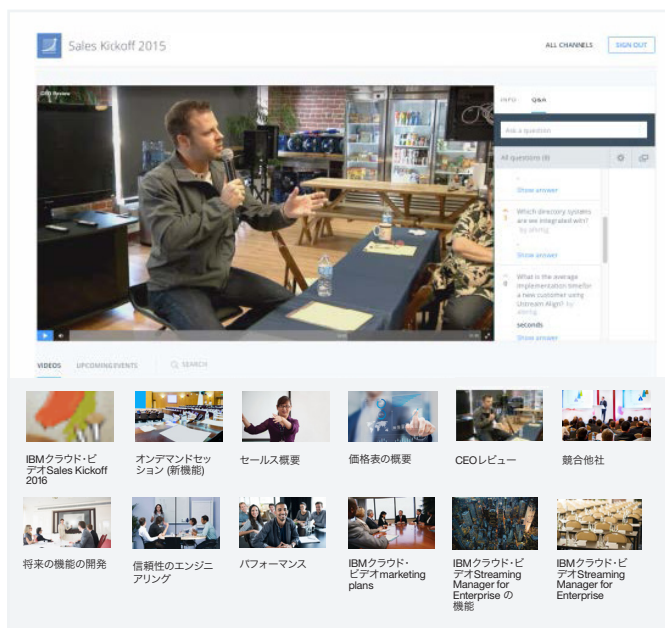
御社のビューワーによるライブおよびビデオオンデマンド双方の動画への検索およびアクセスを、よりやりやすく。ビデオポータルへのコンテンツの移転や維持がシンプルになります。このポータルは、アイデンティティやアクセスの管理ソリューションやディレクトリシステムとの統合など、御社で定義したアカウントセキュリティオプションと連動して、社内で指定された従業員のみがビデオを閲覧できるように管理を行います。

- クラウドホスティングを有効に利用する。セットアップ不要。
- 部下チームを教育して情報を提供するためのビデオをアップロードする。
- 今後予定されているイベントのスケジュールを見る。
- ビデオライブラリを検索して並べ替える。
- 見逃した可能性のある録画済ストリームを見つける。
- 確実に保護された状態で主要なパートナーやアドバイザーや代理店を追加する。
- 特定の従業員チームに制限する。

役割ベースの管理

確実にビデオチャンネルを管理するフレキシブルな管理役割機能を使用して、他の従業員が閲覧できるようにライブ配信する前にビデオコンテンツを確認する、マルチユーザー承認プロセスを生成する。オンデマンドアセットのためのライブストリーミング機能とクラウド編集機能を含む、複数のユーザーがビデオコンテンツの作成と管理に参加できるコラボレーションアプローチを活用する。

- 管理者の役割の異なる2人以上のユーザーを提供。
- チャンネル管理者にスーパー管理タスクを委託。
- チャンネル管理者を特定のチャンネルに制限。
- 発表前のオンデマンドコンテンツをプレビュー。
- 複数の仲介役でライブイベントを管理。



サンプルチャンネル

チャンネル機能を利用すると、組織内の特定ビューワーのみにビデオの配信先を絞り、その集団のニーズや興味にあったコンテンツを見つけ、アクセスできるように役立てることができます。これらのチャンネルにより、コンテンツをStreaming Manager for Enterpriseビデオポータル体験の一環として分類することができます。

タウンホールチャンネル

通常、タウンホールチャンネルは、組織の幹部陣専用のビデオ放送チャンネルです。通常、これを使用して、企業戦略を伝達したり、事業に関する最新情報を提供したり、従業員体験を拡張する一つ方法として情報提供・発奮・教育を行ないます。

人事チャンネル

人事チームは、専用チャンネルを用いて、手当や規則の変更や研修コンテンツの最新情報を提供することができます。ビデオは、手当に関する複雑な選択肢を説明し、従業員に登録方法を指導し、人事チームの作業負担を削減する上で、優れた方法です。

セールスイネーブルメントチャンネル

セールスマンは、製品や価格、市場のニュース、ケーススタディや競合他社に関する最新情報を必要としています。専用のセールスイネーブルメントチャンネルを通して、ほぼすべての端末からアクセスできる、ワンストップショッピング型情報サイトをご利用いただけます。

パートナーチャンネル

パートナーは、製品やサービス、価格変動に関する最新情報を必要としています。この種の情報は、専有情報であることが多く、御社のパートナーが簡単に見つけて利用できるように、パートナーチャンネルによってコンテンツがカスタマイズしやすくなっています。

カスタマーサービスチャンネル

カスタマーサービスチャンネルを構築すれば、顧客の作業負担に影響する可能性のある製品やサービスに関する最新情報や、今後の発売予定の情報を気軽に連絡することができます。このサポートチームは、このチャンネルを使用して、顧客に関する重要な問題についての社内情報を共有することもできます。

マーケティングチャンネル

マーケティングチームは、チャンネルを使用して、全員に同じ情報が行き渡るように、市場や製品の最新情報、成功事例、競合他社や市場に関するニュース、今後のキャンペーンやイニシアチブについての情報に関する社内パイプラインを構築することができます。

エンジニアリングチャンネル

エンジニアリングチャンネルを使用して、確実に保護された方法で、今後発売予定の製品やサービス、商品見本、概念実証、検討中のイニチアチブに関する社内情報を共有したり、新規提案のアイデアを募ることができます。

まとめ

Streaming Manager for Enterpriseを使用すると、ビデオコンテンツの作成・整理・公表・アクセスの各プロセスを合理化できるように、特定のビューワーや組織部門にターゲットを絞ってビデオを制限することが可能になります。このポータルによって、セキュリティ機能が充実したビデオロケーションを一箇所にまとめ、御社のコンテンツへのアクセスを簡素化し、組織内のコミュニケーションを改善することが可能となります。また、ビューワー追跡を利用することで、ビデオの利用率を追跡し、成功率の高いコンテンツを決定し、規則遵守上の理由から従業員がアクセスできるコンテンツを検証することができます。

IBMクラウド・ビデオについて

2016年1月創設のIBMクラウド・ビデオは、IBMのR&DラボのイノベーションとClearleapやUstreamのクラウドビデオプラットフォーム能力が合体したものです。ユニット全体を通じて、IBMでは、オープンなAPIの開発、デジタルおよびビジュアル分析、管理の簡素化、世界中の業界への広範且つ継続的な配信といった分野にまたがるビデオサービスという、パワフルなポートフォリオを提供しています。IBMクラウド・ビデオは、信頼性の高いビデオオンデマンドとストリーミングのサービスを通して、主要メディア企業や大手企業をサポートしています。

IBMクラウド・ビデオに関する詳細については、www.ibm.com/cloud-computing/solutions/videoをご覧ください。



© Copyright IBM Corporation 2017

IBMクラウド・ビデオ
550 Kearny Street
Suite 600
San Francisco, CA 94107.

アメリカ合衆国にて制作
2017年11月

IBM、IBMのロゴ、IBMクラウド・ビデオのロゴ、IBM.com、UStreamは、International Business Machines Corp.の登録商標で、世界中で数多くの管轄区域で登録されています。他の製品名やサービス名は、IBM又は他企業の商標である場合があります。

IBM社商標の最新リストは、ibm.com/legal/copytrade.shtmlの「著作権と商標の情報」セクションをご覧ください。

Apple、iPhone、iPad、iPod touch、iOSは、米国および諸外国におけるApple Inc.の登録商標又は商標です。

本書に記載されている情報は、初版発行日の時点で最新ですが、IBMによって随時変更されることがあります。IBMが事業を展開しているすべての国で、全ての製品・サービスをご利用いただけるわけではありません。

本書に記載されている情報は、商品性のいかなる保証、特定目的に関する適合性、ならびに非侵害に関するいかなる保証および条件を含め、明示と暗示を問わず、一切の保証なしに「現状のまま」で提供されています。IBM製品は、製品提供の際に締結された契約条件に基づいて保証されています。

確実なセキュリティ実施に関する宣言文: ITシステムセキュリティでは、御社内外からの不正なアクセスに対する予防や検知、応答によるシステムや情報の保護が行なわれます。不正なアクセスによって、情報が改変・破壊・横領・不正使用されたり、他者に対する攻撃を含むシステムの破損や不正使用が行なわれたりすることがあります。完璧に安全と見なすことのできるITシステムや製品はありません。又、単一の状態で不正アクセスを防止する上で完璧に効果を発揮できる製品、サービス、セキュリティ対策もありません。IBMのシステムや製品は、総合セキュリティアプローチの一部を成すものとして設計され、必要に応じて操作手順の追加が行なわれます。その効果を高めるべく、他のシステムや製品、サービスを必要とする場合があります。IBMは、そのシステムや製品が、何らかの第三者による悪意ある又は非合法な行動の損害を被るリスクにつき、これを一切保証いたしません。